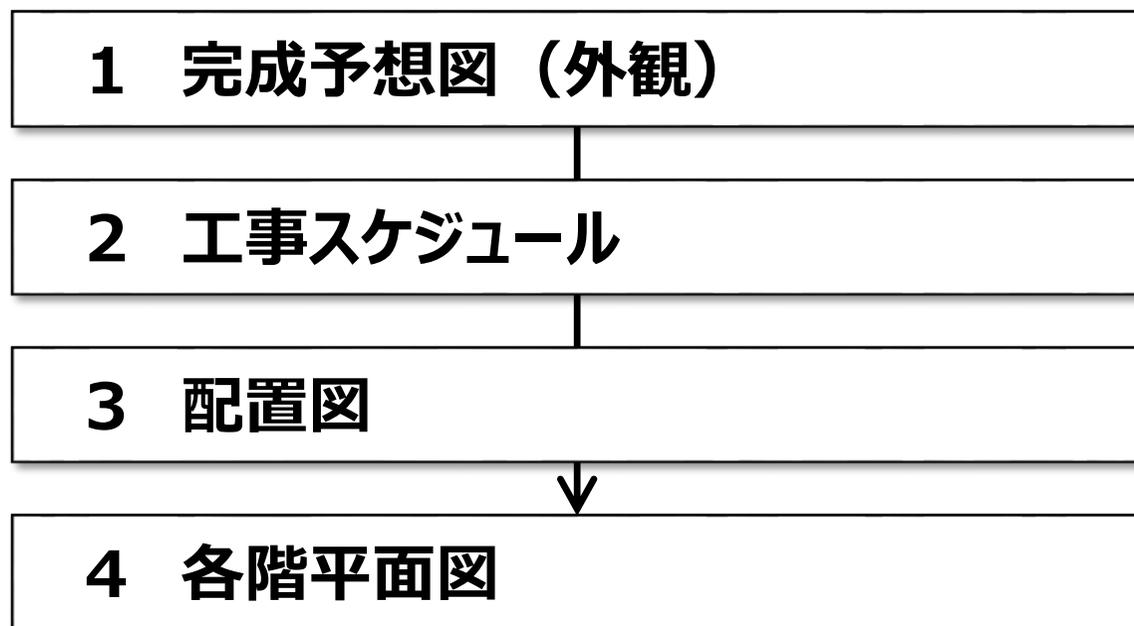


# **(仮称)かしわら認定こども園**

## **基本設計書（概要版）**

平成30年6月 柏原市こども政策課

# もくじ



本概要版では、基本設計書のうち、上記項目の設計図書について市の考え等をお示しいたします。

保育所待機児童の増加や公立幼稚園児の減少など、子どもを取り巻く社会的環境の著しい変化や建物の老朽化等の課題を解決し、地域の保育環境の向上を図ることを目的とし、引き続き認定こども園整備を進めてまいります。

# 1 完成予想図（外観）



## ■ デザイン

- ・外観は丸みのあるシンボリックで親しみあるデザインとします。
- ・街の風景にとけこんだ自然で落ち着きのあるデザインとします。
- ・安心・安全に配慮し、子どもたちが落ち着いて生活できる場をデザインします。

## ■ コスト

- ・必要条件を満たしたうえで、教育・保育施設として適切なグレード設定とします。
- ・初期費用の低減を図り、将来変化への対応や維持メンテナンス等のランニングコストも十分に検討し、運営費を抑えられるように設備・仕様を決定します。

## ■ 将来計画

- ・公共施設のため長期的な利用を考慮し、維持管理に配慮した設備計画等を行います。

## ■ 敷地条件等

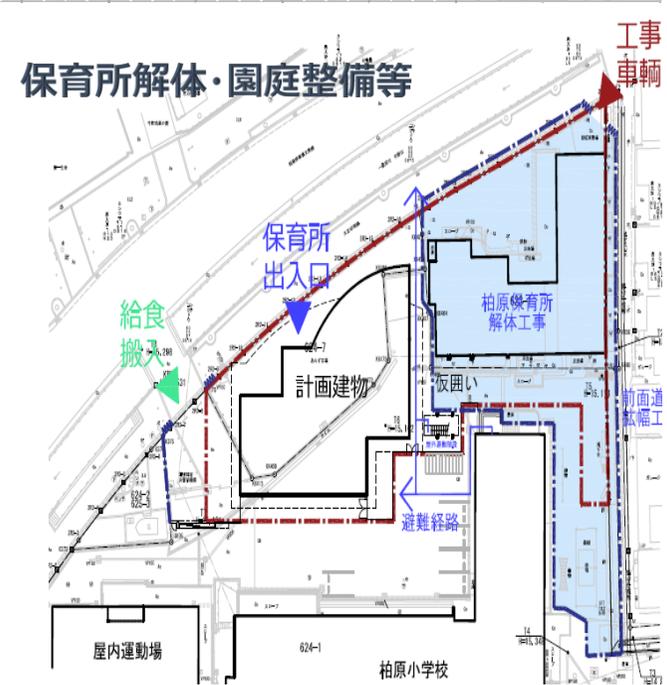
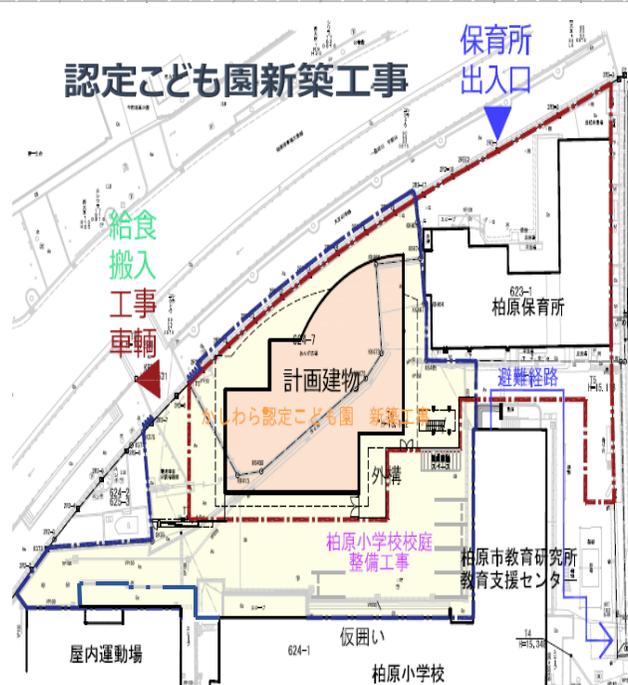
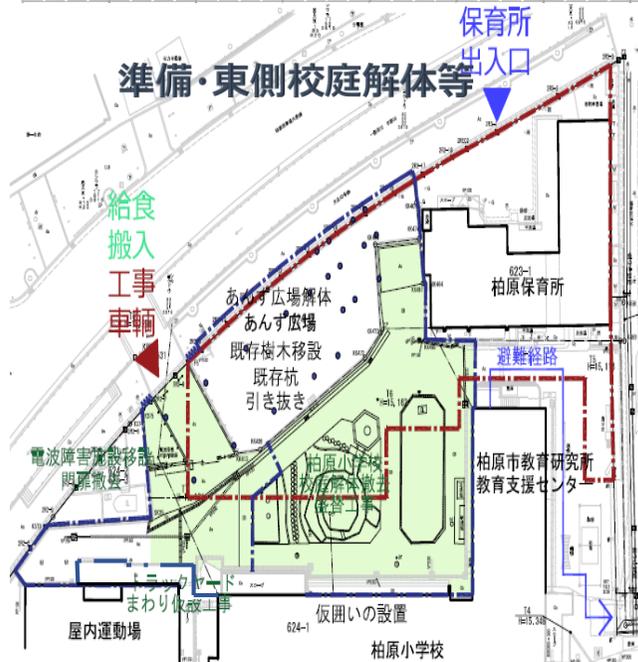
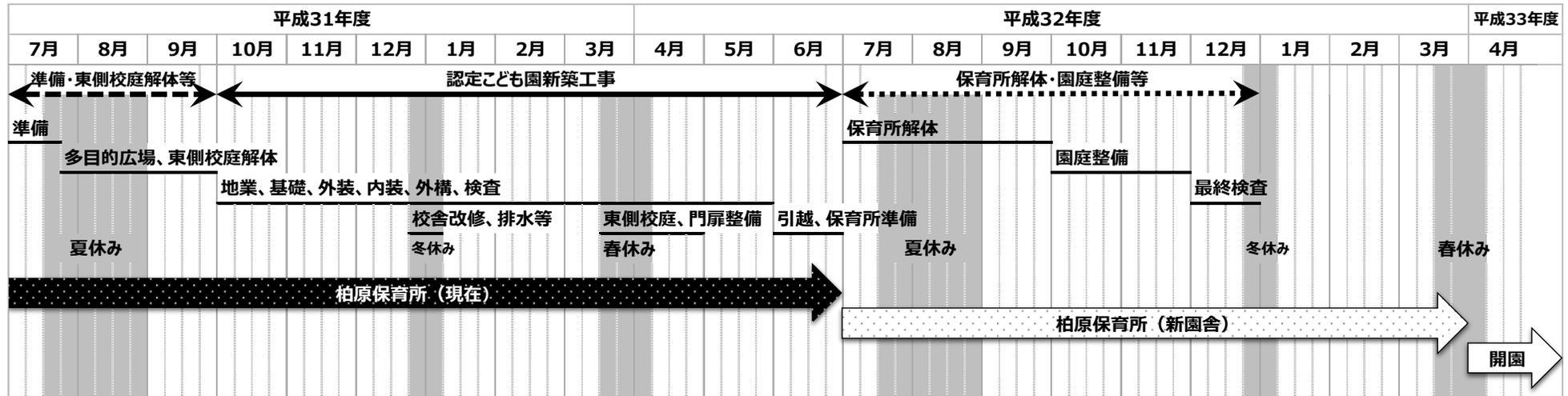
(面積等は暫定値)

建物用途	幼保連携型認定こども園	敷地面積	1511.35 m <sup>2</sup>
構造・規模	鉄骨造 地上4階 (耐火建築物)	建築面積	480.22 m <sup>2</sup>
		延床面積	1245.53 m <sup>2</sup> (約377坪)

## ■ 想定定員

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1号認定				11	25	25	61
2・3号認定	6	15	24	24	25	25	119
計	6	15	24	35	50	50	180
	3歳児以上の学級数			2	2	2	6

# 2 工事スケジュール(予定)



## ■ 開園時期について

平成29年度に策定した「公立幼稚園及び公立保育所再編整備実施計画【第1期】」では、平成32年4月の開設を目標としておりましたが、法的規制等の調整、既存建物や地盤等の調査、関係機関・団体等との協議を経た結果、以下の工程・業務等の追加により認定こども園の開設時期を平成33年4月といたします。

### ① 多目的広場（あんず広場）残置杭引抜工事（工事+2か月）

以前あった建物(公民館柏原分館、八尾保健所柏原支所)の基礎杭の残存が判明し、正確な位置が特定できず位置を探りながらの工事となるため。

### ② 園舎解体工事におけるアスベストの除去（工事+1か月）

柏原保育所園舎階段床・北側外倉庫屋根に非飛散性アスベストが使用されており、各種法令及び大阪府の指針に基づいて、隔離・養生等を適切に行いながら除去を行うため。

### ③ 設計業務期間延長、入札方法変更による調整（着工時期+6か月）

上記①・②の不測の事態発生により、新たな作業工程の追加やそれに伴う調整・積算期間等を確保するため設計業務期間を延長しました。これによって補正予算の市議会への上程時期が変更になること、さらに、上記①・②や建築費の高騰などの影響によって、積算金額が当初の想定額を上回ったことによる入札方法の変更に伴う調整のため。

## ■ 工事について

- ・ 具体的な工程は、工事業者、小学校、保育所等との協議により決定することになりますが、概ね上表のスケジュールにより工事を進めてまいります。
- ・ 建設場所と小学校・保育所が近接していることから、工事期間中の影響を最小限に留めるよう可能な限りの配慮・対策をし、安全対策等を十分行いながら工事を進めてまいります。



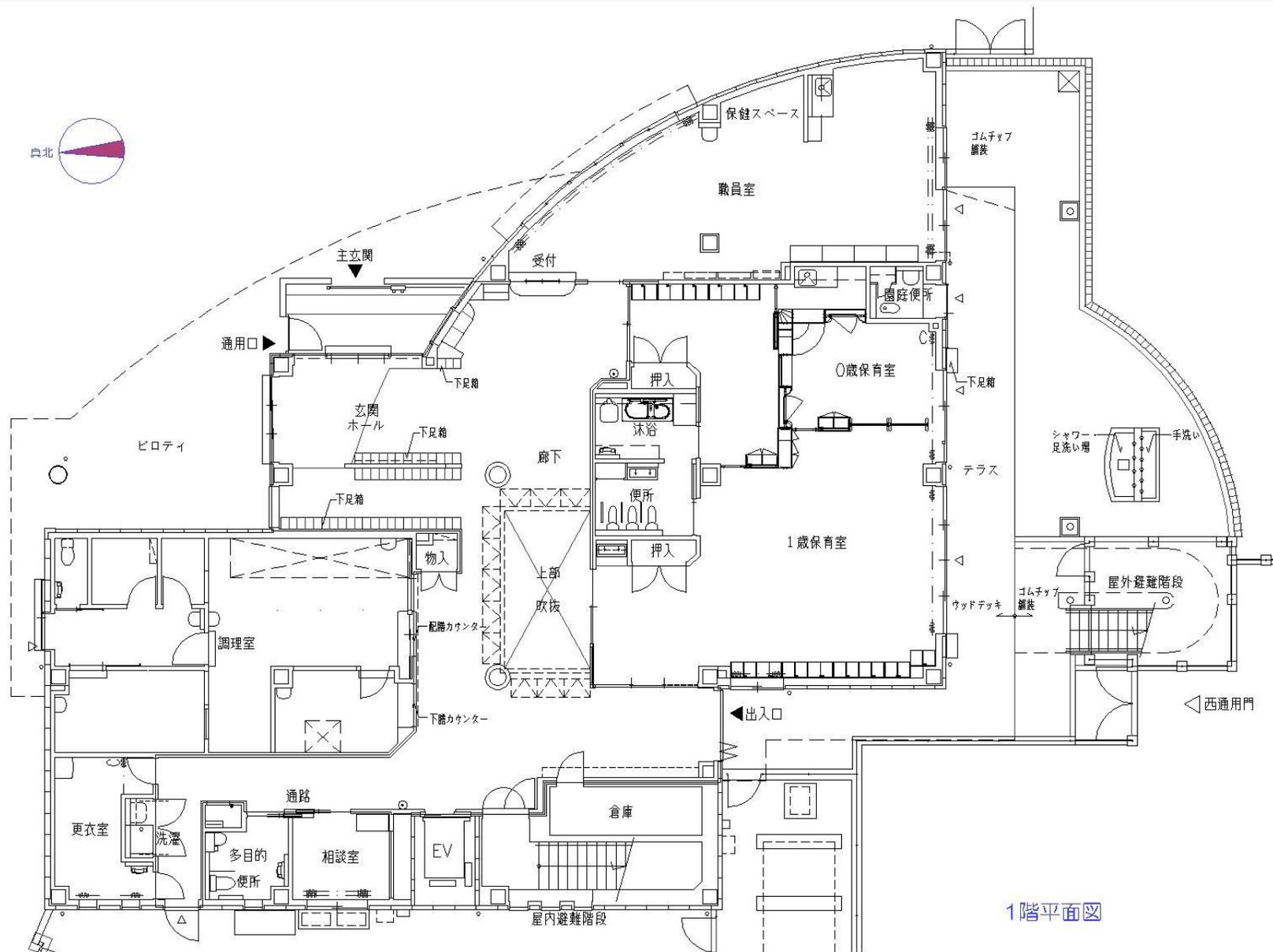
## ■ 配置概要

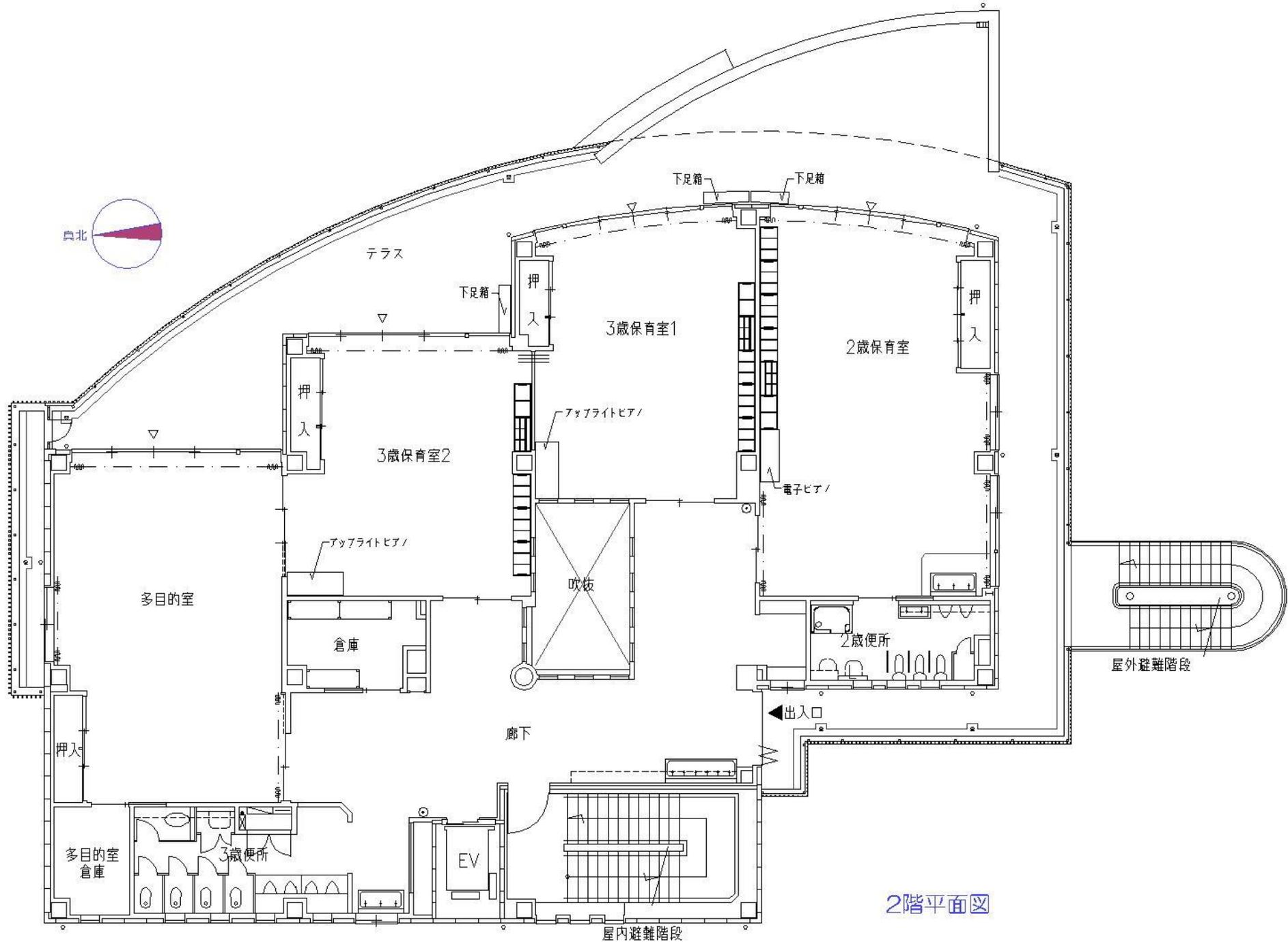
- ・認定こども園の新設は、柏原保育所での保育を継続しながらの計画となるため、北に建物、南に園庭を配置します。建築基準法等による規制や隣接する柏原小学校校舎との位置関係の都合上、不整形な敷地形状となっています。
- ・建物へは、東側歩道に面する主玄関からの出入りを基本とし、敷地内に駐輪スペース、駐車場2台分(内、1台は身障者優先)を設けます。
- ・十分な駐車台数を確保できなかったこと、前面歩道が通学路であることや小学校給食搬入車と認定こども園送迎車が交錯しないよう安全面への配慮が必要であること等を踏まえ、認定こども園での駐車場利用は送迎時間帯を区分し、許可制とする予定です。
- ・敷地南側は、関係法令に従い道路拡幅を行います。

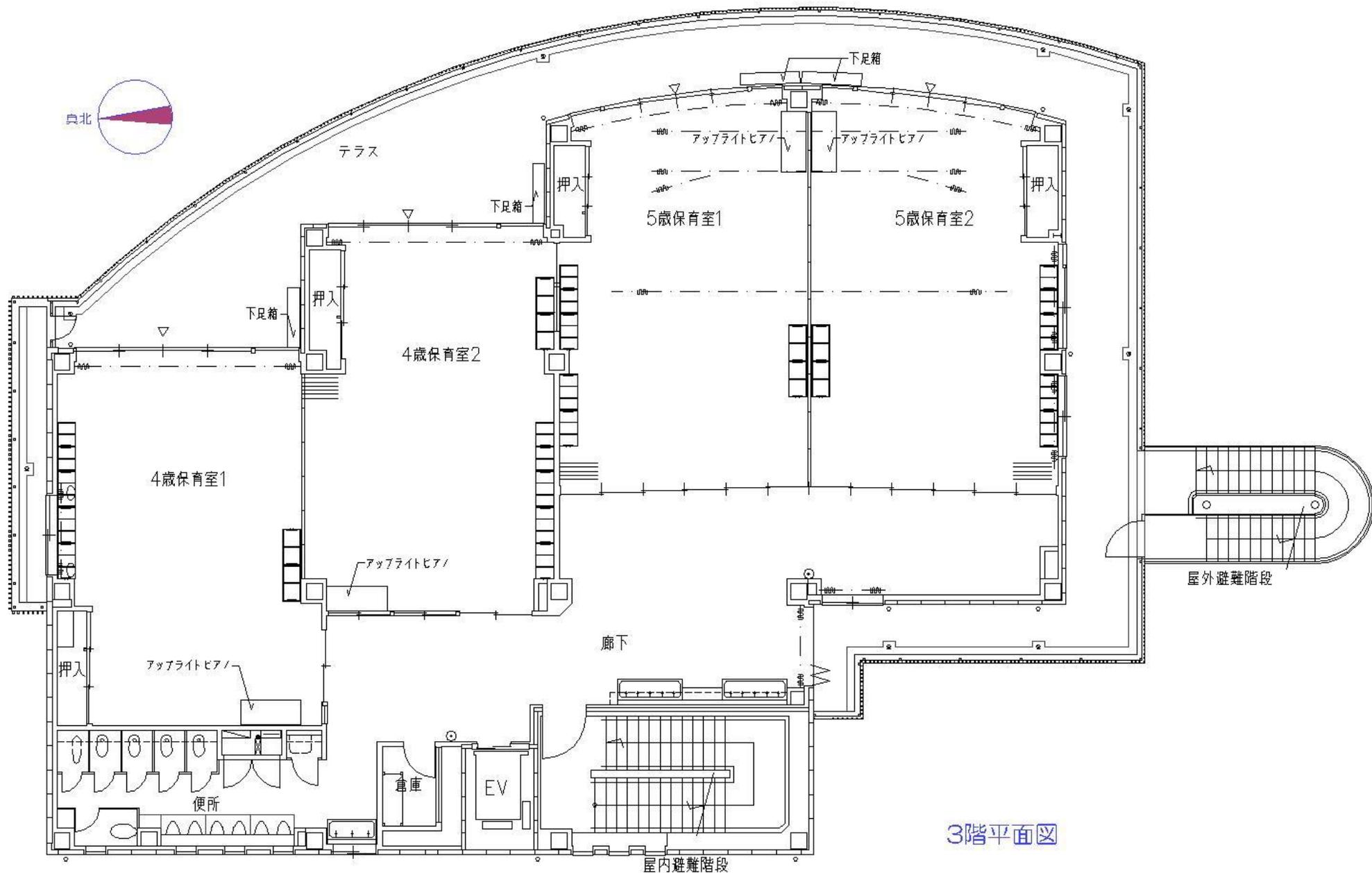
## ■ 園庭

- ・園庭では、自然空間を織り交ぜた遊具配置を行い、自然と親しみながら園庭を駆け回るなど、子どもたちが能動的に遊ぶことのできる場をデザインします。
- ・植栽は、病害虫がつきにくい樹木等を選定し、子どもたちが季節の移り変わりや自然を感じることのできる配置を行います。
- ・新園舎が完成するまでは、現柏原保育所西側の園庭をそのまま使用できる計画とし、柏原保育所の解体、認定こども園の園庭整備期間中の遊び場や運動会等は、柏原小学校に協力をいただいたり、安全面を考慮した上で大和川河川敷、近隣公園等の代替場所を一時的に利用して確保する予定です。

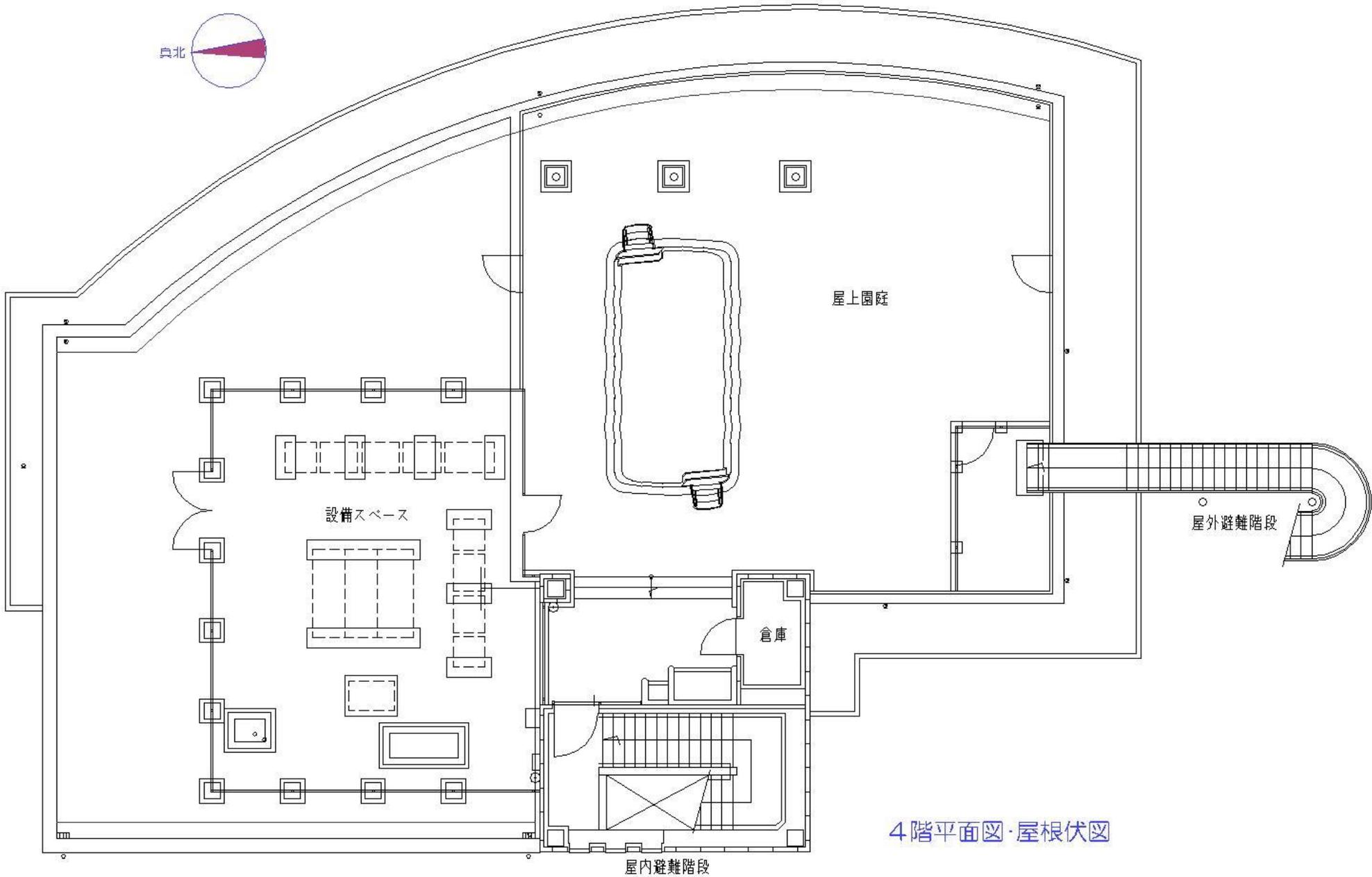
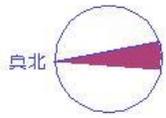
# 4 各階平面図







3階平面図



4階平面図・屋根伏図

## ■ 建築計画

- 1階：主玄関、職員室兼保健室、相談室、調理室、更衣室、洗濯コーナー、0～1歳保育室、沐浴室、園児用便所、多目的便所、園庭用便所、倉庫、テラス
- 2階：2～3歳保育室、便所（園児・大人）、倉庫、多目的室、テラス
- 3階：4～5歳保育室、便所（園児・大人）、倉庫、テラス
- 4階：園庭、シャワー

## ■ 概要

- ・職員室から前面歩道や通用口、園庭等への視線を確保し、必要箇所に防犯カメラを設けます。
- ・給食は、認定こども園内で調理を行う自園調理方式とし、菜園で採れた野菜を使って調理するなど、子どもたちと調理員がコミュニケーションのとれる環境を整え、離乳食を含め年齢や発達、健康状態に応じた食事の提供を行います。
- ・1号認定の子どもや保護者の送迎時の動線を考慮し、玄関ホールでは北側にピロティを設けて開口間口を広くとり、また、東側でも広く開口できるようにしつつ、保育中は通用口での出入りとするため手前にフェンスを設けセキュリティ対策を行います。

## ■ 外装計画

- ・外壁にはALCパネルを採用し、親しみやすい外観デザインとします。
- ・外壁仕上げの一般部は防水形複層仕上塗材（吹付けタイル）を主体とします。

## ■ 内装計画

- ・木目調の仕上げ材を採用し、温かみと落ち着きのある内装計画とします。
- ・壁、天井に面する仕上材は全て不燃材を採用します。
- ・壁コーナーはR仕上げを採用し、保育室等に使用する窓や戸には、上下クレセントや指詰め防止、内部建具には戸先ゴム等の設置を行い安全に配慮します。
- ・床：乾式二重床下地に複層フローリング張りを主体とし、歩行感・安全性に配慮します。便所は、乾式二重床下地に抗菌性UVコーティングのビニール床シート張りを主体とし、メンテナンス性・経済性に配慮します。
- ・壁：石膏ボード下地にビニールクロス張りを主体とし、便所・沐浴室・調理室には防水性に優れた化粧ボードを採用し、メンテナンス性に配慮します。
- ・天井：エントランスホール・廊下・保育室は吸音石膏ボードとし、調理室・下処理室はケイカル板塗装仕上げとします。その他は化粧石膏ボードとします。

## ■ 構造計画

- ・被災後に大きな補修をすることなく、施設を利用でき、公共性及び災害時・災害後における機能性を考慮し、高い安全性を確保することを目標とします。
- ・経済性・耐久性・施工性等に十分に考慮して総合的に優れた構造計画を行います。

## ■ 設備計画

- ・子どものための施設であることから、コンセント高さ等の細かな設備配置まで安全への配慮を行います。
- ・保守・維持管理が容易な設備設計とするとともに、LEDランプの採用など省エネに配慮した計画とします。
- ・0歳児、1歳児の部屋には、子どもたちが冬でも快適に過ごせるよう床暖房システムを取り入れます。